

## 「倉渕村のサクラ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

高崎の西側の長野原町との境・・・関東山地に顔をつっこんだような位置に、倉渕村(くらぶちむら)がある。実は町村合併で現在は「高崎市倉渕町」になったのだが、私はかつてのように「倉渕村」と呼ぶのがふさわしいような気がする。山間の狭い平地に開けた集落である。このあたりは標高も高く、東京よりもずっと寒い。春が来るのも半月ぐらい遅く、先日通った時も、まさにサクラが満開だった。



倉渕は北軽井沢から高崎へ抜ける、群馬県道 58 号線沿いにある。県道は集落に入ると、家々の軒をかすめるように通過する。その家々の庭にもサクラが満開になっている。

川を挟んだ対岸の丘に、一塊の大きなサクラが見えた。橋を渡って近づくと、それはお寺を囲むように咲く、見事なサクラの木々だった。もう一度お花見気分になれて、いい一日だった。

「群馬県道 58 号線」 花の県道だった。



「倉渕村のサクラ」 車は最近買った「日産モコ」。私の車のナンバーは常に **88-00**